

平成 22 年 2 月 2 日
福井市都市戦略部都市計画課

【改訂】福井市都市計画マスタープラン（素案）に関する 福井市パブリック・コメント募集の結果

【概要】

福井市では、平成 12 年 3 月に都市づくりの総合的な指針となる「福井市都市計画マスタープラン」を策定し、都市の将来像や土地利用などの基本方針の実現に向けた都市づくりに取り組んできました。

しかしながら、マスタープラン策定後、平成 18 年 2 月には旧美山町、旧越廼村、旧清水町の 3 町村と合併し、人口約 27 万人、面積約 536 平方キロメートルの新しい市となり、平成 17 年度に行われた国勢調査を始めとする各種都市データなども更新されつつあります。

また、人口減少時代への突入や本格的な超高齢社会の到来に加え、地球規模での環境問題などの社会情勢の変化を的確に捉えた都市づくりを進める必要があります。このような状況を踏まえ、一昨年（平成 19 年度）より都市計画マスタープランの見直しに着手し、このたび「全体構想」、「分野別構想」、「地域別構想」から成る「福井市都市計画マスタープラン（素案）」を作成いたしましたので、これらに対して市民の皆様から広くご意見を募集いたしました。

【意見募集結果】

実施時期	平成 21 年 12 月 7 日から 平成 22 年 1 月 15 日まで	
意見提出状況	提出者	12 人
	意見数	37 件
意見提出方法	書面の持参	2 人
	郵便	3 人
	ファクシミリ	1 人
	電子メール	5 人
	その他	1 人

1【項目名】状況の変化と現況について（全体構想）

（提出された意見）1

「全国的な都市づくりの潮流」として、低炭素都市づくりや生物多様性都市戦略などの考え方を盛り込むべきではないか。環境基本計画と連携し、風の道やエネルギーインフラの整備（スマートグリッド・新エネ導入）など具体的施策を積極的に考え、環境都市として全国トップを目指す計画として欲しい。

（意見に対する市の考え方）

低炭素社会の実現や循環型社会の構築など、環境問題への対応は都市づくりの重要な課題として捉えています。全体構想の将来都市像では自然環境と共生・調和した水と緑あふれる都市づくりを進めることを基本に、市街地の拡散を抑制することや、中心市街地と地域拠点が公共交通ネットワークにより有機的に結ばれた、いわゆるコンパクトシティを目指すことで環境に配慮した都市づくりを進めることとしています。

ご指摘をふまえ、都市づくりの理念として環境負荷が小さな都市づくりを進めることや、「多様な拠点づくり」の先導施策である中心市街地の整備においてエネルギー負荷を低減するような新技術の活用に取り組むことなどを新たに追加します。

2【項目名】将来都市像について（全体構想）

（提出された意見）2

車の移動が少なくて済むように円形型の街をつくり、徒歩で20分くらいで移動できるような都市にするべきである。

（意見に対する市の考え方）

公共交通を中心として歩行者が快適に生活できる市街地を形成する、いわゆる集約型都市構造を目指す都市づくりの考え方は将来都市像に位置づけています。

ただし、現状の市街地の形状をご提案の円形型の都市構造に大きく変えるということは困難であると考えます。

（提出された意見）3

市内を流れる小さな川に魚がすむことのできる清流を取り戻すことを将来の都市像に含めて欲しい。

（意見に対する市の考え方）

将来都市像には「自然環境との共生・調和を基本とした水と緑あふれる都市」を掲げ、市街地での潤い空間の確保を位置づけており、ご指摘の主旨は踏まえたものとなっています。

具体的には「水と緑の空間づくり」に向けた推進方針の中で、魚などの水生生物が住める環境づくりに取り組むとともに、河川や用水の親水空間を活用しながら水と緑のネットワークを推進していくことを新たに追加します。

(提出された意見) 4

周辺部での人口の減少や高齢化は、中心部に偏った産業政策や商業機能の誘導によるものと考えられ、中心部への投資は過大な感がある。もっと地域住民の声を聞いて計画して欲しい。

(意見に対する市の考え方)

周辺部の地域を支えていくためには、活力ある中心市街地と、周辺部と中心市街地を結ぶ公共交通ネットワークの充実が重要だと考えています。中心部への投資は周辺部の生活改善のためにも役立つものだと考えています。

3【項目名】多様な拠点づくりについて(全体構想)

(提出された意見) 5

現在の福井駅周辺(業務機能集積ゾーン)はオフィス機能が低下しているのでビジネスセンターとしての拠点性を復活させ、さらに、活性化させるには新規のオフィスの建設が必要。福井駅前働く就業人口を増やし都市としての魅力を向上させ常に人が活動している駅前に再生させるべきである。

(提出された意見) 6

福井駅周辺(商・遊・居住推進ゾーン)はアミューズメント、エンターテインメント空間が不足しているため、観覧車機能付きの都市型娯楽施設の建設ができるように法整備と条例の整備を進めるべきである。

(意見に対する市の考え方)

ご提案の機能の誘導については、大手2、3丁目周辺では「業務機能集積ゾーン」として行政機関や企業のオフィスなどの業務機能を誘導し、順化1、2丁目周辺の「商・遊・居住推進ゾーン」では賑わいを創出するために、商業、業務、娯楽機能の集積を推進していくことを位置づけています。

(提出された意見) 7

福井の魅力の再認識・再定義と独創性を創出し、まず駅前1km四方を集中的に見直し、福井の顔づくりを徹底的に推進することが肝要。

(意見に対する市の考え方)

これまでもJR福井駅を中心とした約105haを中心市街地として位置づけ、賑わいの道づくり事業などで道路の高質化や電線類の地中化、アーケード整備等の各種活性化策に取り組んできたところです。

今後も県都の顔の再生に向けた活性化策を積極的に推進していきます。

4【項目名】身近な生活空間づくりについて(全体構想)

(提出された意見) 8

地域拠点に必要な都市機能として挙げられている特産品販売所、観光案内情報等が市街化調整区域のみに偏っているのはおかしい。福井駅周辺にもそうした機能が必要である。

(意見に対する市の考え方)

福井駅周辺は県都の玄関口として、福井市の周辺部及び県内の観光や産業に関する情報の発信や特産品等の紹介などの機能は重要であると考えており、地域別構想の市街地中心部のまちづくり方針に位置づけていますので、全体構想及び分野別構想にも追加します。

5【項目名】移動の骨格づくりについて(全体構想)

(提出された意見) 9

全体構想「移動の骨格づくり」で、「子どもから高齢者まですべての人が安全に通行でき」とあるが、道路構造令の車道と歩道の段差解消とどのように計画しているのか。また、マウントアップからフラットタイプの歩道への改良等は検討予定なのか。

(意見に対する市の考え方)

今後の道路整備にあたっては、これまでの自動車優先の道路整備から歩行者・自転車利用者の視点に重点を置き、ユニバーサルデザインの考え方を取り入れながら、車椅子やベビーカーの利用も前提にした整備を進めることを位置づけています。ご指摘

の整備手法も有効な方法と考えています。

(提出された意見) 10

街の中から電柱を取り除き、配線を地下に埋めて地震災害を最小限に抑えるべきである。

(意見に対する市の考え方)

電線類の地中化、無電柱化について、防災上や景観上の視点から必要性や整備効果が高い箇所から推進することを位置づけています。

6【項目名】進行管理の考え方について(全体構想)

(提出された意見) 11

4つの視点ごとの推進方針に対して、どれだけの予算を投入するのか。また、いつまでにどのレベルまで実現するのか。方針は理解できるが、実現可能性に疑問を感じる。

(意見に対する市の考え方)

都市計画マスタープランは20年先の実現化を目指した長期的な方針のため、具体的事業及び年次計画を明示することは難しいと考えており、社会経済状況を踏まえながら段階的に取り組んでいくこととなります。また、進行管理については、市長のもと関係部局からなる全庁的な組織を設置し、庁内関係各課の連携・調整を図りながら評価・検証を行うことを位置づけています。

<p>7【項目名】地域別まちづくり方針について（地域別構想）</p>
<p>（提出された意見）12</p> <p>高木・高柳の郊外部の流通業務ゾーンとゆとりの住宅地ゾーンのバランスが実利用と異なって感じ、商業・流通・住宅複合ゾーンに見える。</p>
<p>（意見に対する市の考え方）</p> <p>流通業務ゾーンとしているところは準工業地域に指定されていることから、住宅を建設することも可能であり、実際には様々な土地利用がなされています。しかしながら、当地区は交通の幹線軸沿いにあることから、特に誘導すべき機能としては流通業務機能を考えています。</p>
<p>（提出された意見）13</p> <p>市街地南部のまちづくり方針図で、（主）清水美山線などの計画的な整備推進とあるが、“等”には国道8号線や音楽堂とのアクセスが便利になる清水麻生津線の整備は含まれているのか。</p>
<p>（意見に対する市の考え方）</p> <p>一般県道清水麻生津線の整備については、地域別構想の「市街地南東部」「南東部」地域において、「他地域との連携を支える道路環境の維持・向上を図るために整備を推進する幹線道路」として明示します。</p>
<p>（提出された意見）14</p> <p>地域別構想内、南東部のまちづくり方針図において説明されている『糞置荘の景観の保全』の矢印が、特定の場所を指しており間違いと思われる。糞置荘は上文殊地区と文殊地区にまたがっているため表記の仕方を検討してほしい。</p>
<p>（意見に対する市の考え方）</p> <p>ご指摘のとおり、糞置荘は上文殊地区と文殊地区にまたがっているため表記を修正します。</p>

具体的な施策の提案等

<p>8【項目名】中心市街地の活性化について</p>
<p>(提出された意見) 15</p> <p>駅の広場は、東西での一体感、広場としての囲まれた空間性やデザイン的な統一性を図ると共に、福井の顔をイメージできる仕掛けなど工夫がほしい。</p>
<p>(意見に対する市の考え方)</p> <p>福井駅の広場の整備については、現在、西口広場は暫定的な整備であることから、今後、東西の統一の取れた整備を進める予定となっています。</p>
<p>(提出された意見) 16</p> <p>中心市街地活性化のためには学生や外部専門家、文化人等の意見も聞くべき。</p>
<p>(意見に対する市の考え方)</p> <p>市では、中心市街地の活性化に向けて、学識経験者や民間団体の代表を委員とした福井市中心市街地活性化基本計画策定委員会を設け意見を伺い、基本計画を策定しています。なお、計画の実現に向けた個別施策や事業の実施にあたっては、それぞれの専門分野のご意見を聞きながら進めていきます。</p>
<p>(提出された意見) 17</p> <p>賑わいをもたらす地元産業・商業を活性化させるためには、街づくりと共に魅力的な仕掛けやイベントが必要。</p>
<p>(提出された意見) 18</p> <p>市内商店街が協力して、高齢化する店主の後継者育成プログラムなどを立ち上げてみてはどうか。</p> <p>定住可能な街にするため、外部人材を取り入れる仕組みを創出してみてはどうか。</p>
<p>(意見に対する市の考え方)</p> <p>中心市街地の活性化には、ハード的な取り組みの一方でソフト施策と連携しながら進めていくことが重要です。現在も地元商店街やNPO、まちづくり福井株式会社のタウンマネージャー等が中心となって各種イベントの実施や学生との連携を進めているところです。</p>

(提出された意見) 19

県庁を移設し跡地に福井城を建設し、近くにジョイフル福井のような大衆娯楽施設を設けたらよい。

(意見に対する市の考え方)

福井城址は歴史資源であるとともに観光資源としても重要な役割を担っていると考えています。今後は、福井城址の活用に関する検討を進めます。

9【項目名】公共交通機関について

(提出された意見) 20

福井市中心市街地活性化基本計画にもIC乗車券カード導入すると明記されているので、約束どおり導入してほしい。

(提出された意見) 21

えちぜん鉄道と福井鉄道の相互直通運転が実現すると、現在よりも運行系統が複雑になるので、混乱を防ぎ、待ち時間を楽しくするために、LED式の自動旅客案内表示機と自動旅客案内放送の導入が必要。

(提出された意見) 22

えちぜん鉄道と福井鉄道の全ての待合室の照明はいつも消灯されているので、営業時間内は常時点灯するように市役所から両社に行政指導をするべきである。

(提出された意見) 23

えちぜん鉄道・福井鉄道すべての駅のトイレを改築し、清潔感、使い勝手、利便性を向上させるべきである。

(提出された意見) 24

福井鉄道のフェニックス通りの全ての電停は、西口再開発ビルと相互直通運転時代に相応しい電停に再構築・改築するべきである。

(提出された意見) 25

えちぜん鉄道と福井鉄道の全ての駅にユニバーサルデザインを採用し、利便性の高い駅舎に増改築するべきである。

<p>(提出された意見) 2 6</p> <p>各地域のなかで駅の存在感を高めるために、駅まで何メートル、徒歩何分と示した案内表示板を設置するべきである。</p>
<p>(提出された意見) 2 7</p> <p>えちぜん鉄道・福井鉄道ともテレビCMが全然放送されていない。テレビCMを作成するように行政指導するべきである。</p>
<p>(提出された意見) 2 8</p> <p>田原町駅は相互直通運転が実現するとターミナル駅としての格上げが期待されるので、建て替えて、利便性の高いミニ駅ビル化するべき。</p>
<p>(提出された意見) 2 9</p> <p>現在よりも快適性と利便性の高いLRTの新型車両の早期導入を期待する。</p>
<p>(提出された意見) 3 0</p> <p>JR北陸本線の利便性向上と機能アップを図るべきである。</p>
<p>(提出された意見) 3 1</p> <p>低床式のLRTを導入し、軌道も従来の福武線に拘らず、歩ける街に相応しいルートを再設定するべき。</p>
<p>(提出された意見) 3 2</p> <p>高床式の福武線やえちぜん鉄道は中心市街地には乗り入れず、低床式のLRTと結節点で接続し、ダイヤの連携を図るべき。</p>
<p>(提出された意見) 3 3</p> <p>福井駅の東口の高速バスの乗り場は冷暖房完備の屋内型の待合室を導入、整備してほしい。屋外だと不親切な感じがしてよくない。</p>
<p>(意見に対する市の考え方)</p> <p>公共交通の充実計画の実現のための重要な施策として考えています。ご指摘の鉄軌道の活用については「移動の骨格づくり」において、えちぜん鉄道と福井鉄道の相互乗り入れによる高頻度運行やターミナル機能の強化、LRTの導入など位置づけているところです。</p>

なお、施策や事業に対する具体的なご提案については、今後の参考とさせていただきます。

10【項目名】福井駅西口中央地区市街地再開発事業について

(提出された意見) 34

西口再開発ビルの最上階へ、展望レストランと展望台の誘致を要望する。

(提出された意見) 35

西口再開発ビルは長年東京や大阪などの都心部で活躍してきた商業テナントが相応しい。現計画は規模が小さすぎる。

(意見に対する市の考え方)

福井駅西口中央地区市街地再開発事業は市民のご意見もお聞きしながら鋭意進めているところです。

なお、事業に対する具体的なご提案については、今後の参考とさせていただきます。

11【項目名】福井駅東部の開発について

(提出された意見) 36

豊島2丁目の元福井市営野球場に「ドーム型の多目的野球場」を建設し、県内外から人々を呼び込み、企業的発想の収益を目指した民間プロジェクトによる地域開発事業を立ち上げるべきである。

(意見に対する市の考え方)

市営野球場跡地である東公園は都市計画に位置づけられた運動公園です。現時点では、地域開発事業を行うことは考えておりません。

12【項目別】足羽山の活性化について

(提出された意見) 37

足羽山を花や食べ物、体験施設で1年中楽しめる観光場所にして、市民が自慢できる場所にしてほしい。

(意見に対する市の考え方)

足羽山は広く市民が利用することを目的とした総合公園として、またスポーツ・レクリエーションなどの多様な交流や連携を育む拠点として位置づけています。

なお、事業に対する具体的なご提案については、今後の参考とさせていただきます。